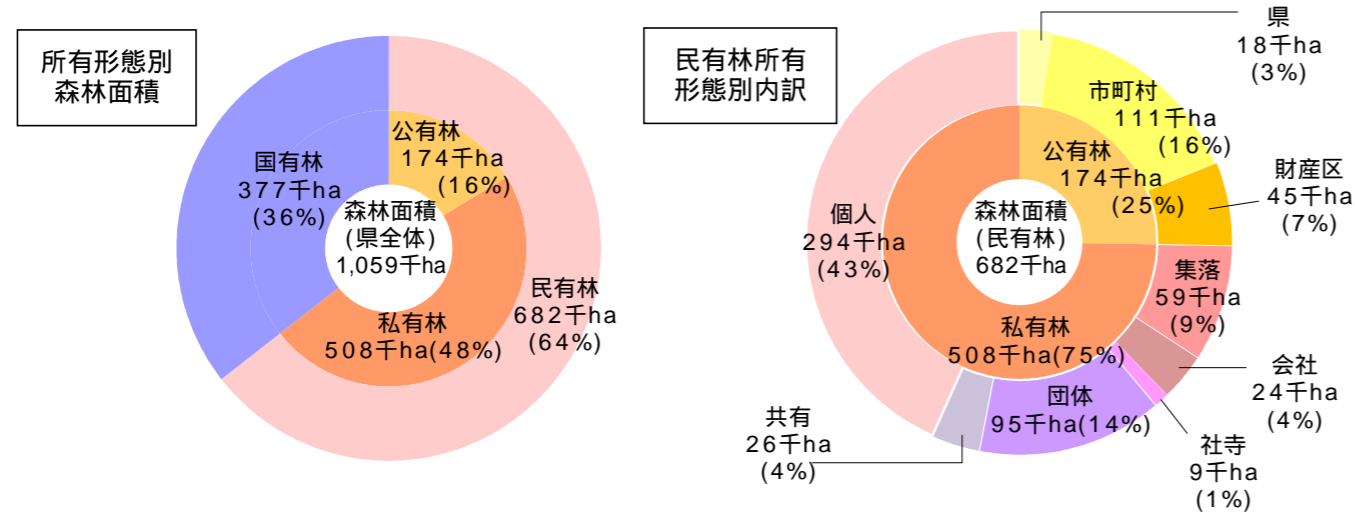


長野県の森林・林業の現状

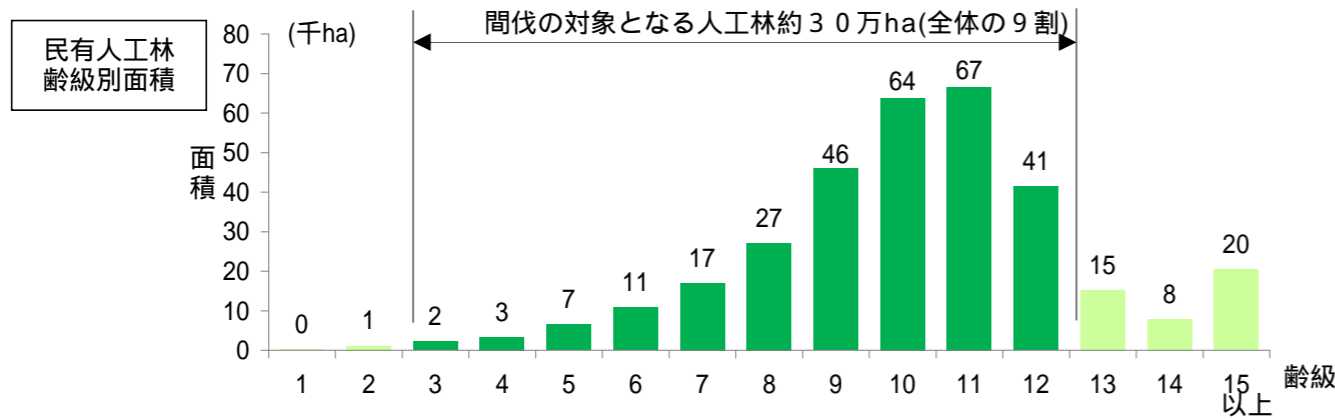
グラフのデータはH22年度末現在(出展:平成22年度林業統計書)
 数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳が一致しない場合があります。

1 森林の現状

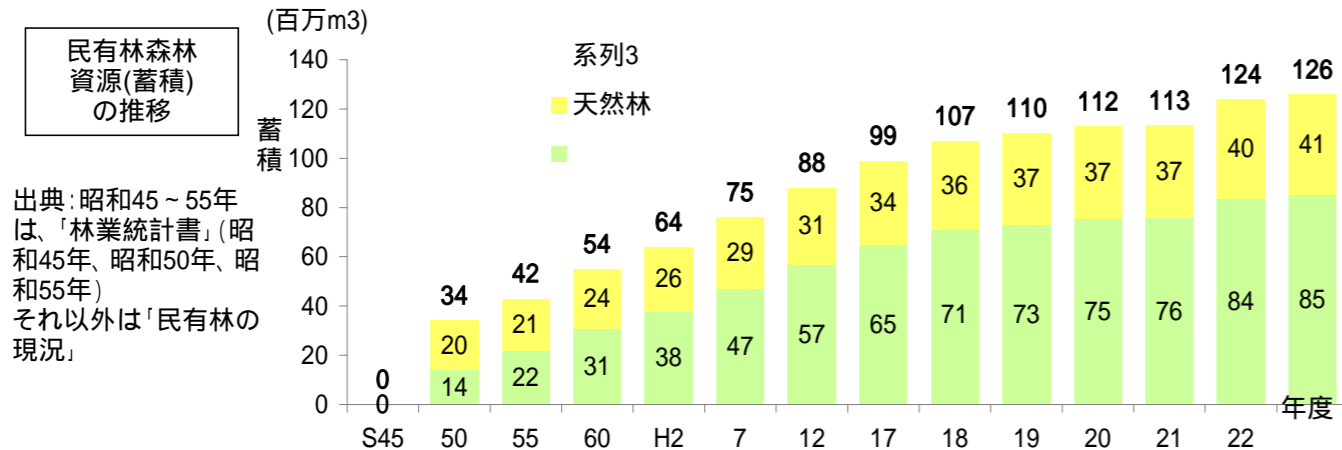
県土の約8割が森林でその3分の2が民有林、民有林の4分の3が私有林
 民有林の約6割が針葉樹、人工林率(人が植えた森林の割合)は50%で約半分がカラマツ



人工林の多くは今、間伐が必要



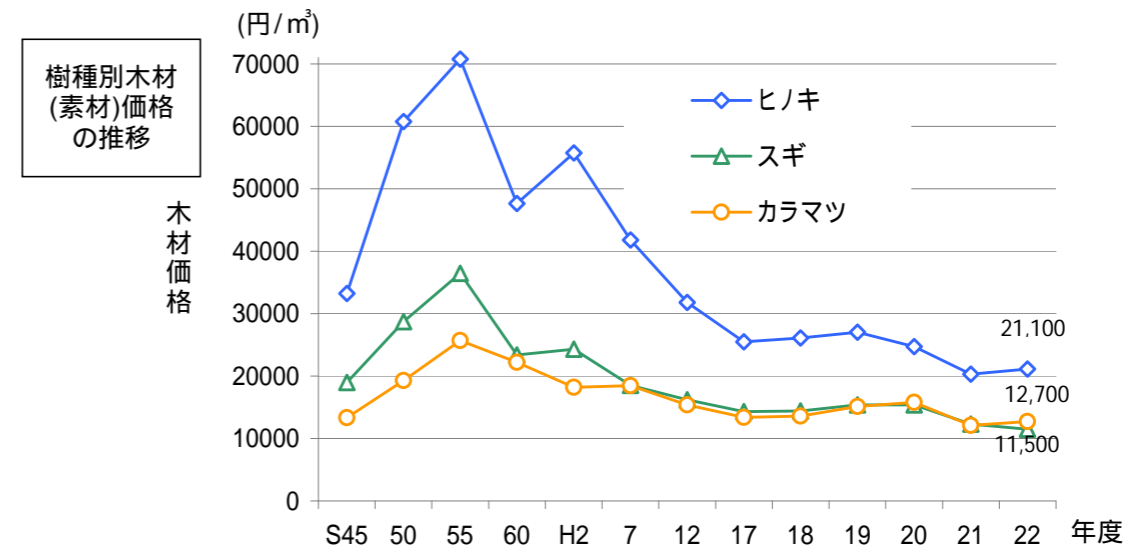
森林資源は着実に増加、育てる時代から利用する時代へ



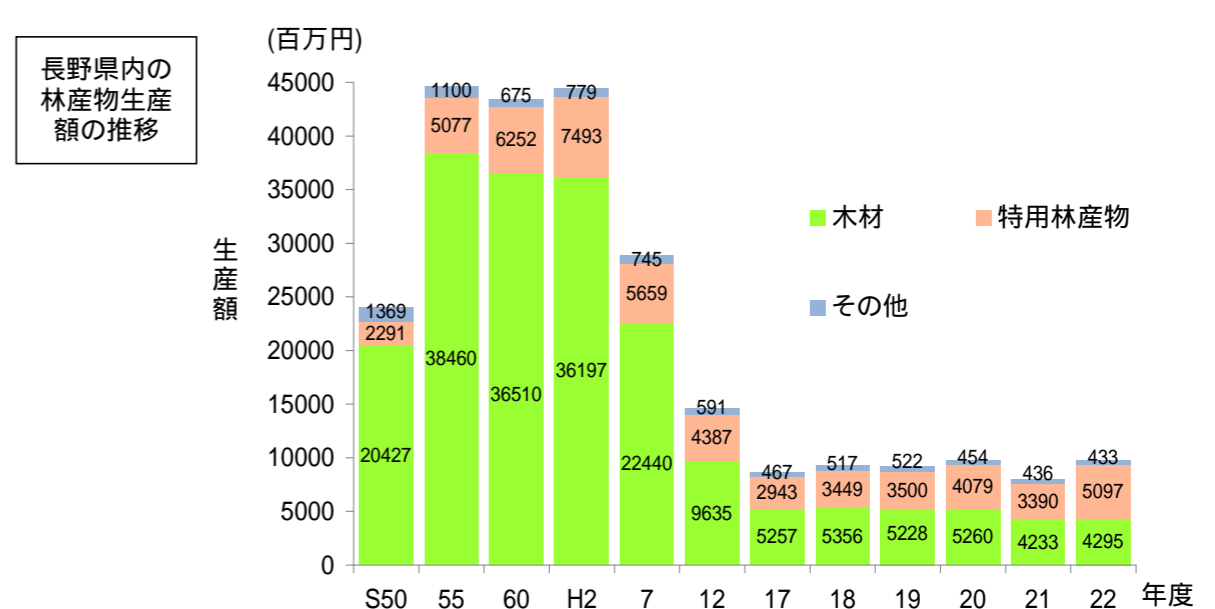
出典:昭和45~55年は、「林業統計書」(昭和45年、昭和50年、昭和55年)
 それ以外は「民有林の現況」

2 林業の現状

木材価格の低迷により厳しい林業経営



近年の林産物生産額は90億円前後で推移



注1) 「特用林産物」に農政部所管の栽培キノコ類は含みません
 注2) 「その他」は木炭、薪、林業用種苗の合計額です